

大腸菌生菌検出

*光源波長：405 nm（2試薬検出法）



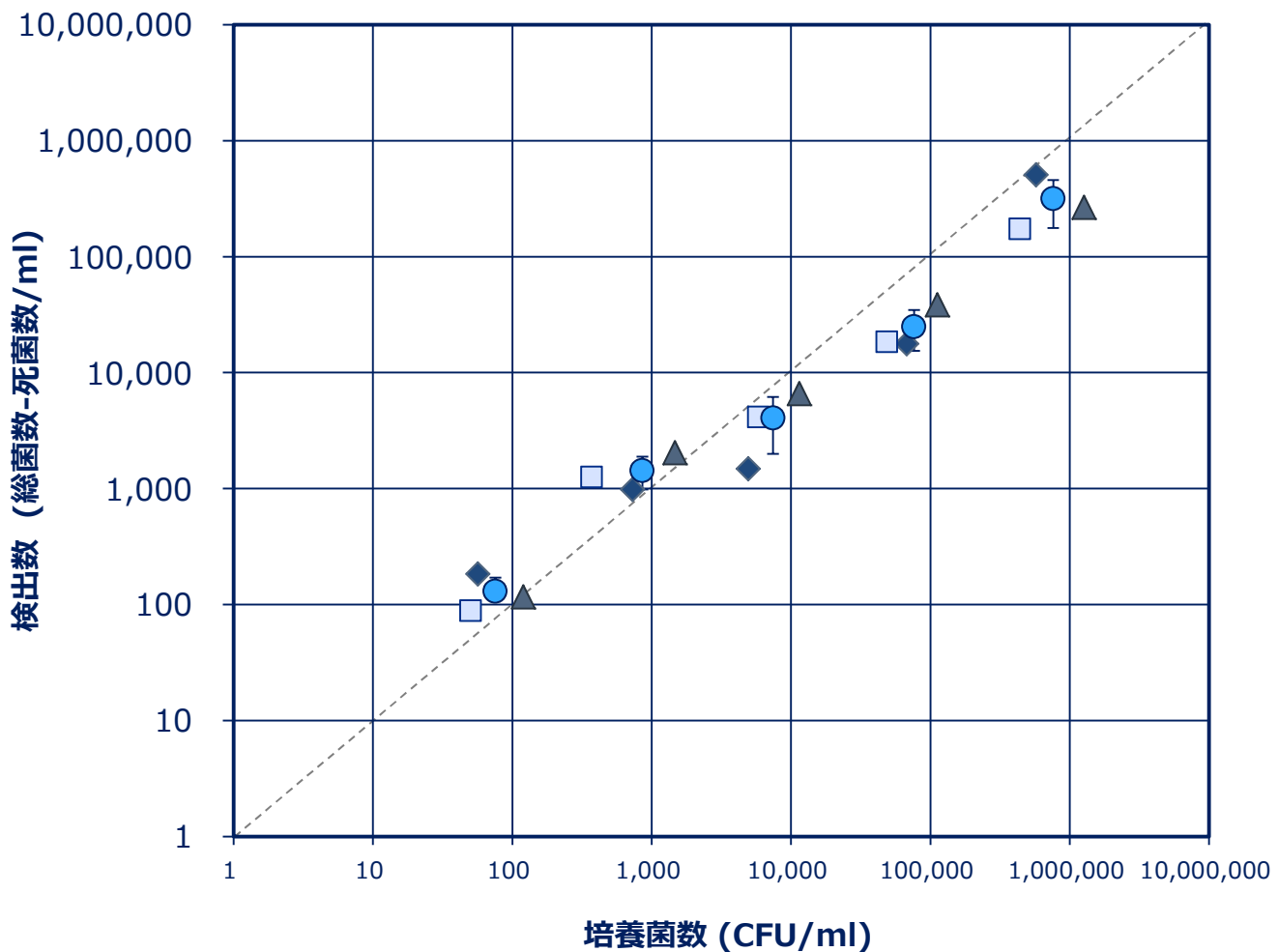
使用検体：大腸菌培養液(*Escherichia coli* JM109)

検出手順

- ①検体を生理食塩水で段階希釈
- ②希釈した検体をろ過したメンブレンフィルター2枚を用意
- ③総菌染色試薬と死菌染色試薬でそれぞれ染色(35℃、10分間)
- ④rapiscoで撮影、自動検出
- ⑤検体を標準寒天培地に塗布、48時間後にコロニー計測

検出結果

検量線(検出数、培養法相関)



検出結果から100～1,000,000/mlまで培養法と相関関係が確認できる。

*2試薬検出法は、酵素活性型の生菌染色試薬での検出が難しい場合にDNA結合型の総菌染色試薬と死菌染色試薬を用いた生菌検出方法としてご紹介しております。